

Rotary

Rotary Opens  
Opportunitiesロータリーは機会の扉を開く  
2020～2021年度 ホルガー・クナーク RI会長テーマ

## WEEKLY BULLETIN

2020年10月8日(創立69周年)

呉ロータリークラブ週報 号外 Vol.1

■呉RC 2020～2021年度テーマ

「調和と未来への継承」

会 長 長 尾 正 嗣

副 会 長 長 行 事 義 人

直前会長 志々田幸治

幹 事 石 田 直 樹

会 計 畦 淳 造

会長エレクト 福田多喜二

会場監督 中崎 誠

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12

呉商工会議所ビル南館7階 705号室

☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692

(例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル

☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120

(例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30

E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

10月8日例会中止にあたり号外を発行いたします

## 私の仕事と職業奉仕



檜和田 浩昭

1990年3月に大学を卒業して証券業界に飛び込んで、今年で31年目となります。当初就職活動時89年は、以前のNTTの政府株放出なども手伝い、空前の財テクブームに沸いていました。私もニュース等を観る限り、株価上昇がしばらく続くものと信じて疑いませんでした。しかし年を跨いで90年相場入りすると、潮目がガラッと変わり急落スタートとなりました。入社以降も株価下落に歯止めがかからず、8月にはイラクのクウェート侵攻で湾岸戦争が勃発するなど、株式市場にとって厳しい状況が続きました。

就職活動時に調べた業界知識と実際の実務を比較すると、大きな乖離があったように記憶しています。理論上証券業界は、投資したい個人や法人と資金を必要とする法人や国との両者間で、「直接」資金が流れるパイプ役を務める役割を担っているとされています。そこが「間接」的に資金を融資する銀行との違いです。

しかし実務として投資家の皆さまに勧誘するにあたり、「なぜ企業ごとに株価がちがうのか」とか「なぜ企業別で1株あたりの利益に対して10倍まで買われる銘柄もあれば100倍まで買われる銘柄があるのか」などなど、入社1年目でお客様に聞かれて即答できない質問も少なくありませんでした。

20歳代の新人が、60～70歳代の人生経験豊かなお客様と投資について商談するのですから証券市場以外にも幅広い知識の収集が必要でした。ファンダメンタルズ(経済の基礎的要因)は言うに及ばず、投資のタイミングを計るテクニカル分析(トレンドや日柄、酒田五法等)、相続や保険など20～30歳代で吸収しなければいけない知識はたくさんあったと記憶しております。

現在、新型コロナウイルス感染に伴う世界的な経済失速を回避すべく各国政府は経済対策等を打ち出しています。そして同中央銀行は潤沢な資金を供給してカネ回りを良くするため、ゼロ金利政策、あるいはマイナス金利政策を打ち出しています。現金を預けておいても金利が付かない時代がしばらく続くということです。金融庁も人生100年時代を見据えて「貯蓄から投資へ」国民の金融資産を誘うため、様々な政策を打ち出しています。

日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較(19年8月29日現在)」によると、わが国の家計の金融資産は1835兆円。うち株式の占める割合が10.0%、投資信託は3.9%にすぎません。なんと預金の割合が53.3%も占めているのです。物価や賃金の上昇が当面見込みにくいなか、証券業界に携わる者としての職業奉仕として、やはり前述した「貯蓄から投資」のお手伝いをする事だと思えます。そのためには「リスク」の意味を理解していただくことが重要だと思います。現在投資をされていない方は、「リスク=損失」と考えているのではないのでしょうか。リスクと「リターン」は表裏の関係にあり、その許容度によって資産配分を選定することの啓蒙が、私の考える職業奉仕と認識しております。

最後に私事ですが、10月6日付で本社カスタマーセンターへ異動となりましたこと、ご報告申し上げます。呉ロータリークラブで学ばせていただいた奉仕の理念を忘れず、気持ちを新たに、新部署でも全力を尽くして参ります。

今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。